

④ 「コロナ禍での児童虐待の現状と課題」

大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー
スーパーバイザー 水流添 綾

◎令和元年度に児童相談所が児童虐待相談として対応件数⇒193,780件で過去最多を更新し、年々増加している。この数字は児童相談所が指導や措置等を行った件数で、実際にもっとたくさんの児童虐待がある。

◎内容別件数を見ると、令和元年度は**心理的虐待の割合が56.3%**で最も多い。夫婦間暴力や面前DVなど、子どもたちは、生活の中で暴力を目にしている。
次いで、**身体的虐待(25.4%)**、**ネグレクト(17.2%)**、**性的虐待(1.1%)**となっている。

◎児童虐待相談対応件数の動向(令和2年3月～令和3年2月)を見ると
・休校措置がとられた3月は前年同月より18%増だった。
・4月5月はそこまで対応件数は増加していないが6月は前年同月より12%増。
学校が再開した6月に増加しているということは、子どもたちの様子を確認できたときに増加⇒コロナ禍で虐待が見えにくい状況になっている。

◎児童虐待件数増加の背景にあるもの(コロナ禍以前)

保護者の要因	養育環境の要因	子どもの要因
保護者の精神疾患	経済的に不安定	未熟児
保護者の知的障がい	地域で孤立・差別	障がい児
被虐待体験者	ひとり親家庭	育てにくい性格
実家と関係疎遠	転居して間もない	双子などの多胎児
望まない妊娠	面前DV	発達遅滞
10代で出産	ステップファミリー	

○虐待が子どもに与える影響

- ・自己肯定感の低下⇒日常的に否定をされ続けている。
- ・不適切な関わりの学び(暴力・支配の関係など)
- ・愛着の課題(人間関係の構築の困難さなど)

↓これまでの背景にコロナ禍の状況が加わると・・・

○保護者の要因⇒見通しの持てない毎日、先行き不安による精神疾患の増加
緊急事態宣言などによる実家との往来が困難、疎遠
在宅生活時間の長さによる夫婦、家族関係の乱れや変化
不安、寂しさ、居場所探し等による若年出産の増加

○養育環境の要因⇒職の喪失等による経済状況の変化
密を避けるため、保護者交流、地域交流の喪失
ひとり親家庭の貧困、孤立が加速
家庭内におけるパーソナルスペースの確保困難による
いら立ち、衝突などによる家族関係の変化
牙の矛先が弱者へ向かいがち(子どもにあたる親)

コロナ禍で、見えにくいさまざまな家庭背景により、児童虐待がさらに増加につながる可能性が浮き彫りになっている。

◎子どもの環境の変化

- 学校環境⇒突然の休校、時間割の変更、マスクの着用、手洗い、消毒、行事の変更、友達との距離感、クラブ活動の縮小など
- 家庭環境⇒保護者やきょうだいの在宅時間、パーソナルスペースの減少、家族の距離感、衣食住の変化、役割の変化（ヤングケアラーの課題）など
- 地域環境⇒お稽古、スポーツクラブ等の閉鎖、公園遊び、外出自粛による社会視線の変化、家族の外出先の閉鎖、自粛など

実生活の中での窮屈さ、発散場所の喪失、居場所の喪失、イレギュラーな日常

- ①安心安全環境の整備⇒物理的環境整備・・・経済困窮への支援
サービス利用支援
居場所づくり支援
ソフト環境整備・・・信頼関係の構築
相談できる場の提供
情報提供、資源紹介
つながりづくり
- ②子どもへの働きかけ⇒○子どもの権利保証についての意識づけ
 - ・守られるべき存在であること
 - ・助けてと声をあげていいこと
 - ・楽しむ、学ぶ等の権利があること○見守りの具体化
 - ・声をかける、変化に気づく、気持ちを確認する
 - ・情報を提供する
 - ・ココロとカラダ（物理的）の居場所をつくる

心配不安、失望、無気力、苛立ち、孤立感、ゲーム、SNS依存など、子どもたちのストレスが親のストレスになり虐待へと繋がっていく。

◎コロナ禍の虐待によるさらなるリスクと二次被害

○例えば・・・

- | | | |
|--------------|---|--------------------|
| ・居場所探しによるリスク | ⇒ | 甘い誘惑、危険な人や場所との接点 |
| ・現実逃避によるリスク | | 家出、金銭の持出し、万引き、喫煙飲酒 |
| ・自暴自棄によるリスク | | 性被害、望まない妊娠 |
| | | ゲームやSNS依存、薬物依存 |
| | | リストカット、自殺、薬物乱用 |

心身（脳）のダメージによる判断能力、行動抑制力等の低下が命を脅かす！

◎コロナ禍において児童虐待の未然防止、早期発見

◎児童虐待から子どもを守るためつながり合う関係づくり

○子どもと家庭を支える役割は学校、先生だけではなくSC、SSWをはじめ、地域のさまざまな機関が網の目のように関係を持ち、児童生徒を支えていく関係を構築していくことが必要。子どもたちの成長発達を守る意識を高める。